



平成 29 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイホールディングス
代表者名 代表取締役社長 上野 真司
(コード:2721 東証ジャスダック)
問合せ先 取締役副社長 中野 章男
(TEL 03-6430-3461)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の解消に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年 12 月期第 2 四半期決算の内容、及び当社グループの今後の見通しについて検討した結果、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しないものと判断し、平成 29 年度 12 月期第 2 四半期決算短信において「継続企業の前提に関する重要事象等」、及び「継続企業の前提に関する注記」に関する記載をいずれも解消する旨決議しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

当社グループは、平成 26 年 12 月期において、多額の営業損失、経常損失、及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、また平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間においても、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失、及び営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上するに至ったため、平成 27 年 12 月期第 2 四半期から平成 29 年 12 月期第 1 四半期までの決算短信に、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在する旨を記載するとともに、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社グループは、当該状況を早期に解消すべく、平成 27 年 12 月期より Web 事業において美容医療に関する広告業務を新たに開始し、また平成 28 年 12 月期からは不動産事業における買取再販業務、仲介業務に着手し、注力するとともに、コスト削減による利益率の改善及び財務基盤の強化と安定のための施策を着実に実施してまいりました。

これらの施策が功を奏したことにより、平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間においては、営業利益 61 百万円、経常利益 60 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益 73 百万円、営業キャッシュ・フロー 37 百万円を計上致しました。

また、平成 29 年 12 月期の通期連結業績においても売上高 5,851 百万円（前年同期実績 1,312 百万円）、営業利益 200 百万円（前年同期実績 20 百万円）、経常利益 197 百万円（前年同期実績

9 百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益 176 百万円 (前年同期実績 20 百万円) を見込んでおります。

上記の通り、当社グループにおいては、今後も安定した収益の確保と財務体質の改善が見込まれることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しないものと判断し、平成 29 年 12 月期第 2 四半期決算短信において、「継続企業の前提に関する重要事象等」及び「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することと致しました。

当社グループは、今後も更なる業績の向上、及び企業価値の増大に努めて参る所存でございます。引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上